

新「板東俘虜収容所関係資料」ユネスコ記憶遺産プロジェクト

【平成28年度当初予算額 2,100千円】

板東俘虜収容所

- ・1917～20年 1,000名のドイツ兵俘虜を収容
- ・当時の国際標準を越える人道的処遇のもとで行われた、文化・スポーツ活動、住民との交流、技術指導等の様々な活動

「第九」アジア初演の地
100年に及ぶドイツとの交流の礎

徳島県と鳴門市共同で
・平成30年申請
・平成31年登録
にチャレンジ!



ドイツと共同・連携

ユネスコ記憶遺産

Memory of the WORLD

- ・世界的に重要な古文書や絵画、書物等の保護を目的にユネスコが1997年から登録開始
- ・フランス人権宣言、ベートーヴェン自筆第九楽譜など348件、日本は5件

平成28年度 of 取組

- ・資料の調査研究、申請書作成に着手
- ・調査検討委員会(仮称)の開催
- ・県民参加の機運醸成イベントの開催



申請候補資料

アジア初演「第九」等コンサートプログラム、
「第九」楽曲解説書、演劇プログラム、
スポーツ大会の案内、収容所新聞(ディ・バラック)、
収容所紙幣、写真、スケッチ、カレンダー、
絵はがき、絵画、大谷焼のジョッキ、椅子、楽器 など



- 平成29年 板東俘虜収容所設置100周年
県・ニーダーザクセン州友好提携10周年
- 平成30年 ユネスコに申請
「第九」アジア初演100周年
- 平成31年 ユネスコが登録の可否を決定
- 平成32年 東京オリンピック・パラリンピック
ベートーヴェン生誕250年



世界のBANDOから、あわ文化、おもてなしの心、国際平和を大いに発信!